

修理入力

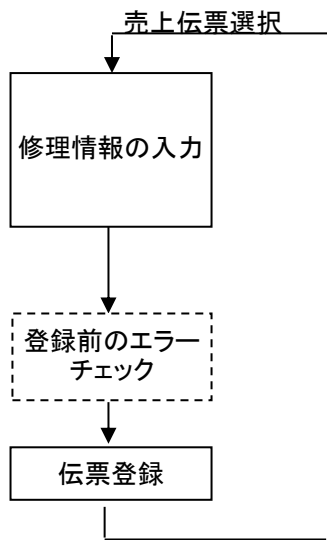
商品の修理やメンテナンスの情報を入力します。

Point

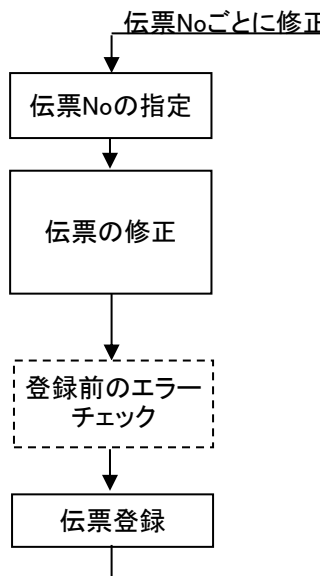
- ・修理入力することにより、以下の業務が可能となります。
 - ① 商品の修理やメンテナンスの履歴を残すことができる。
 - ② 予め修理やメンテナンスの入力しておくことで、予定在庫にも反映することができる。

1) 入在庫入力の操作の流れ

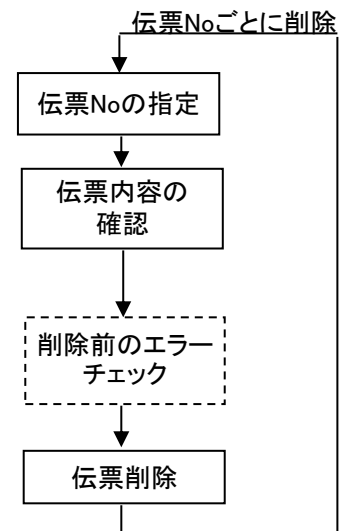
i) 新規登録



ii) 伝票修正



iii) 伝票削除



※修理伝票は伝票Noは重複可能ですので、
同じ伝票Noが存在した場合は、伝票一覧が自動で表示されます。
表示された中から対象となる伝票を選択します。

2) 修理情報 項目の説明

項目名称	説明
伝票No	修理伝票No。 採番管理登録の設定内容によっては重複することもあります。
売上傳票No	貸出中の商品を修理する場合に指定します。 売上傳票Noを指定すると貸出情報に売上傳票の得意先、納入先などが初期表示されます。 在庫商品を修理する場合には指定しません。
貸出情報	売上傳票Noを指定した場合のみ表示されます。 得意先や納入先などが売上傳票からコピーされて初期表示されます。 ※ 修理入力で納入先を変更しても売上傳票の納入先は変更されません。
状況	修理やメンテナンスの状況を選択します。 Point ・選択している状況によって、各帳票への出力内容が変わります。 予約・・・予定在庫を表示する帳票(商品予定表など)では集計されますが実在庫を集計する帳票(営業在庫一覧表や商品台帳など)では表示されません。 修理中、メンテナンス中・・・ 予定在庫を表示する帳票(商品予定表など)では集計されますが、実在庫を集計する帳票(営業在庫一覧表や商品台帳など)では、修理期間終了日は表示されません。 修理・メンテ済・・・予定在庫、実在庫どちらの集計でも修理期間開始日、修理期間終了日ともに表示されます。

項目名称	説明
商品	<p>修理する商品の商品コードを指定します。 商品の指定は必須です。 コードを直接手入力するか、SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択することもできます。 運用設定の登録内容によっては、Spaceキーでは商品マスタにて指定された事業所を参照し、ログオン担当者の所属する事業所と同じ事業所の商品のみを一覧表示することができます。 F4キーでは全商品一覧です。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品コードを入力すると、商品マスタに設定されている「品名」「品名2」が自動表示されます。
貸出期間	<p>売上傳票Noを指定している場合のみ、売上傳票から表示します。</p>
伝票日付	<p>起票日を入力します。 この日付は在庫増減には影響しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝票日付には、運用設定で登録した入力期間制限を越える日付は指定できません。 伝票登録時にエラーチェックされます。
担当者	<p>担当者を選択します。 売上傳票Noを指定している場合、伝票の担当者が初期表示されます。 売上傳票Noを指定していない場合、ログイン担当者が初期表示されます。</p> <p>当伝票がどの事業所の修理であるかは、担当者が所属する事業所で決定します。 事業所名は担当者横に表示されています。 事業所は伝票ごとに保持されていますので、登録後に担当者の所属する事業所が変更されてもデータにセットされた事業所は変更されません。</p>
数量	<p>修理またはメンテナンス対象の商品数量を入力します。 1が初期表示されます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 修理数量が在庫増減する数量になります。 数量の少数以下桁数は、運用設定にて修正可能です。
倉庫	<p>修理する商品の売上する商品の出庫元倉庫を選択します。 売上傳票Noを指定している場合、倉庫は指定できません。</p> <p>SpaceまたはF4キーにて表示される倉庫参照から選択して変更可能です。</p>
修理期間	<p>修理またはメンテナンスの期間を入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 修理期間(開始)は入力必須です。 修理期間(終了)は状況=修理・メンテ済の場合のみ入力必須です。 予め終了日が分かっている場合は修理・メンテ済でなくとも入力しておくことで 予定在庫がより正確に表示されることとなります。 売上傳票Noを指定していない場合(在庫品の修理の場合)、修理期間(開始)で在庫減、 修理期間(終了)で在庫増します。

項目名称	説明
修理先名、住所、TEL、FAX、修理先担当者	<p>修理先を指定します。これらの項目は必須項目ではありません。 「参照」ボタンをクリックすると修理先検索画面が開きます。 修理先検索では過去の修理伝票から修理先が一覧表示されるので一覧から選択することもできます。</p> <p>修理先検索から選択した場合、過去の修理伝票から修理先名～修理先担当者までコピーされます。その後訂正可能です。</p> <p>該当の修理先が表示されない場合は手入力にて修理先名、修理先住所などを入力してください。 ※ 修理先のマスタはありません。</p>
修理費用	<p>修理費用を入力します。 この項目は必須項目ではありません。</p>
修理内容 修理結果	<p>修理やメンテナンスの情報を入力します。 この項目は必須項目ではありません。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none">・修理先名～修理結果までは修理伝票以外に出力される箇所はありません。

3) 修理伝票

修理入力画面で「印刷」ボタンをクリックすると修理伝票がプレビューされます。
必要に応じて印刷してください。